

2025年5月期の業績状況は、おおむね期初計画の通りで推移している。長期ビジョン達成に向けて来年度から第6次中期経営計画の期間に入る。拡大と進化により目標



E・Jホールディングス 小谷 裕司社長

達成を目指したい。

将来的な公共発注量の減少リスクがある中、民間市場の開拓が今後の鍵を握る。24年9月にホールディングスの一員となった地質調査会社・東京ソイルリサーチが持つ民間の顧客網を活用できればと考えている。

地方自治体が発注する案件では、既存インフラを包括管理する案件も増えてきた。既

存インフラの包括管理の受注を強化するとともに、路面下の空洞調査や橋梁基礎部の洗掘調査でも、地質調査分野に強い同社のノウハウを生かしたい。

アジアやアフリカなど、海外市場へも積極的に事業を展開する。昨年にはタイの建設コンサルタントであるダイナミック・エンジニアリング・コンサルタンツと資本業務提

携を結んだ。同社の現地技術者のネットワークを活用し、アジア圏での受注拡大や事業展開へ向けて力を合わせていく。

人材育成では、若手や中堅社員の教育機関として設けている「EJアカデミー」の研究で得られた成果のデータを蓄積し、社員一人一人のスキルが可視化できる段階まで来た。今後は研修成果などを分析し、受注力の強化や生産性の向上などに生かしていきたい。

長期ビジョンへ拡大と進化

